

学 年 6年 2組

氏 名 渡邊百花

題 名 でんきと私

本 文

私たちの生活にはなくてはならない電気。だれしも「電気代はできるだけ節約したい」と思うものです。夏の節電と聞くと「暑い日でもエアコンをつけないでがまんする。」というイメージがあるかもしれませんが、ちょっとした工夫で節電はできるので、どうすれば節電できるのか、生活のな中で便利さや、快適さをなるべくたもちながらできる節電方法があります。

夏場の熱気の多くは窓から室内に入り込みます。夏の冷房時に入り込む熱の約73%が窓や扉などの開口部からと言われます。でもカーテンをつけることにより日差しを防ぐだけでなく、外からの熱気も防ぎます。また、冷房の冷気が逃げるのを防ぐので、効率的に使えます。特に厚手のカーテンや遮熱カーテンだとより効果的です。あと、エアコンを入れる前、部屋の対角線にある2つの窓を開けて空気の動線を作ることです。部屋の対角線にある2つの窓を開けることで、空気が通りやすくなり部屋全体を換気できます。また、窓が1つしかない部屋の換気は、扇風機やサーキュレーターを窓の外へ向けて設置したらいいです。

他は、冷蔵庫内に食材を詰め込みすぎないことです。吹き出し口からの冷気の流れが悪くなり、庫内が均一に冷えなくなります。庫内の温度が上昇すると余分な冷却運転が必要になり、消費電力が増えます。冷蔵庫は、庫内を冷やすために外に放熱をします。冷蔵庫の周囲が壁などに接していると効率よく放熱できませんので、放熱のため周囲に隙間（放熱スペース）を空けましょう。冷蔵庫の設置に必要な放熱スペースは、一般的には、冷蔵庫の側面0.5～2cm、上部5～30cm以上と言われています。ものを詰めすぎないようにちょっと意識するだけで、節電ができます。

最近電気代などが高くなっています。なので、節電をしてお金を節約しましょう。